

2-2：塗装作業用送気マスク

KD-510塗装用の送気マスクも、ショットブラスト用と同様、広い視界と透過性を持っており、狭い箇所でも視認性が良く、塗りムラや塗忘れなどの細かな見落としも減少します。

塗料が付着し視界が悪くなれば、数秒のレバー操作一つで、強化フィルム容易に送り視認性が良い視界を確保できます。

従って、塗装品質の確保も容易であり、後戻り作業減少などの多彩な効果をもたらします。

ヘルメットの大きな違いは、ショットブラスト作業に比べて、固形物の作業者への跳ね返りが基本無いので、付属のヘルメットへのコーティングを無くし、価格の低減を図っています。

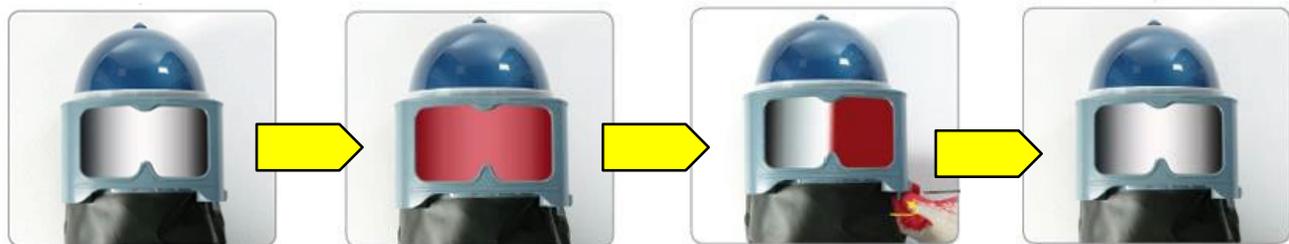
また、スカート部分には軽量化の為、薄手の難燃性生地を採用しています。

更に交換可能なスカートとするため、ヘルメットの首周りにファスナーを付け、容易に脱着できるように成っています。



D-510の作業用強化フィルムの送り状況の参考です。

*ブラスト及びグラインダー用は10回程度、塗装用は約20回フィルムを送ることが可能です。



使用前

使用後

フィルム交換約12秒
*短時間での適正な
視野の確保

フィルム交換後、新たな
視野
*適正なブラスティング
状況の把握が容易

塗装作業では、ゴーグルの上に多数のパラフィン紙を重ねて張り合わせ、塗料が付着して視認性が悪くなれば、一枚づつ剥がし視認性を回復するというような作業をほとんど行っています。

重ねて張っている関係上、最初の視認性にも問題があるとの事でした。

このような作業を回避することで、塗装作業の効率化を図れることと思います。

まず、現在どの程度のアイドル作業が発生しているかを確認してみて、作業改善を試みることをお勧めします。

詳しくは、ご相談ください。